

応募
要項

第6回

生命

いのち

を見つめる
フォト&エッセー

フォト
部門

エッセー
部門

生命の大切さや
心温まるエピソードを
写真やエッセーで
伝えてみませんか

審査員 (順不同、敬称略)

■ フォト部門



野町和嘉

写真家
/日本写真協会会長



岩合光昭

動物写真家



玉城ティナ

女優

他



養老孟司

東京大学名誉教授
/解剖学者



玄侑宗久

作家 / 福聚寺住職



水野真紀

俳優

他

■ エッセー部門

応募締め切り

2022年
10月5日(水)
必着



公式ホームページ

<https://jigyoyomiuri.co.jp/photo-essay/>

生命を見つめるフォト&エッセー 検索



主催：日本医師会、読売新聞社

後援：厚生労働省、文部科学省

協賛：東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社



生命の尊さ、大切さを感じさせる作品を募集します。人間、動物、自然など被写体は自由です。

- 作品のプリントサイズは、キャピネ判(21)とします。
- 応募作品は、2019年6月1日以降に撮影したものに限りです。
- 応募は1人3点までに限りです。
- ※デジタルカメラで撮影したもの、デジタルプリントも応募可能です。
- ※500万画素以上であれば携帯電話等での撮影も可能です。500万画素未満の場合は選考対象外となる場合があります。
- ※画像処理等の加工、合成及び組み写真は不可とします。

一般の部	厚生労働大臣賞(1点)	賞金10万円、賞状他
	日本医師会賞(1点)	賞金10万円、賞状他
	読売新聞社賞(1点)	賞金10万円、賞状他
	審査員特別賞(数点)	賞金5万円、賞状他
小中高生の部	入選(数点)	賞金3万円、賞状他
	文部科学大臣賞(1点)	QUOカード3万円分、賞状他
	優秀賞(数点)	QUOカード5,000円分、賞状他



病气やけがをした時の思い出、介護や生命の誕生にまつわる話、医師や看護師、患者との交流など、医療や介護に関するエピソード、お世話になった医師や看護師ら宛てに送ったという想定「感謝の手紙」などを募集します。小学生の部では、生命(いのち)を身近に感じたエピソードをテーマとします。

- 【一般の部・中高生の部】2,000字(原稿用紙1~5枚)以内。
- 【小学生の部】1,200字(原稿用紙1~3枚)以内。
- 応募は1人1点までに限りです。
- ※パソコン、ワープロ使用の場合、1ページ400字(20字×20行)とします。ウェブ応募の際は公式ホームページからダウンロードしたテンプレートを使用してください。

一般の部	厚生労働大臣賞(1点)	賞金30万円、賞状他
	日本医師会賞(1点)	賞金30万円、賞状他
	読売新聞社賞(1点)	賞金30万円、賞状他
	審査員特別賞(数点)	賞金10万円、賞状他
中高生の部	入選(数点)	賞金3万円、賞状他
	文部科学大臣賞(1点)	QUOカード3万円分、賞状他
	優秀賞(数点)	QUOカード5,000円分、賞状他
小学生の部	文部科学大臣賞(1点)	QUOカード1万円分、賞状他
	優秀賞(数点)	QUOカード5,000円分、賞状他

応募締め切り 2022年10月5日(水) 必着

応募規定

- 応募作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品に限ります。盗作、二重応募、類似、事実ではない創作作品の応募は固くお断りいたします。応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。
- ※すでに書籍化したものや、公の刊行物に掲載されたものは応募不可とします。
- ※違反が確認された際は、受賞決定後も賞の取り消しとなる可能性があります。
- ※ご記入いただいた個人情報は、受賞した場合の連絡、作品に関する問い合わせ、取材、本コンテストに関するご案内のみに使用し、それ以外の目的での使用や、第三者に譲渡することはありません。

- 応募作品は返却いたしません。
- 入賞作品の発表は、2023年2月頃を予定しています。新聞紙面およびウェブサイト、作品と実名、年齢、顔写真、学校名(小中高生の場合)を掲載します。ペンネーム、イニシャル等による発表はできません。
- 表彰式は2023年2月に東京都内で実施予定です。
- 医師および医療従事者も応募可能です。
- ※応募規定の詳細は公式ホームページをご確認ください。

作品送付先 〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-5 共同ビル3F 「生命を見つめるフォト&エッセー」係

応募方法

- ◆ウェブからの応募も可能です。詳細は公式ホームページ (<https://jigyoyomiuri.co.jp/photo-essay/>)をご覧ください。
- ◆エッセー部門は、直筆の場合、鉛筆(Bまたは2B)、ボールペン、万年筆のいずれかを使い、濃く書いてください。
- ◆郵送の場合は、作品に下記の応募用紙をつけて封筒に応募部門を記載の上、送付してください。

公式ホームページ
二次元バーコード



【問い合わせ】読売新聞東京本社 次世代事業部「生命を見つめるフォト&エッセー」事務局 Tel:03-3216-8598(平日10:00-17:00)

応募用紙 ※氏名は実名のみ受付となります。

応募部門	<input type="checkbox"/> フォト部門 一般の部 <input type="checkbox"/> フォト部門 小中高生の部 <input type="checkbox"/> エッセー部門 一般の部 <input type="checkbox"/> エッセー部門 中高生の部 <input type="checkbox"/> エッセー部門 小学生の部	題名	
氏名	ふりがな	年齢 歳	性別 男 女
住所	〒	都道府県	職業(学校名・学年)
MAIL	@		
フォトのみ	撮影年月日	撮影場所	撮影機材
確認の上、チェック☑を入れてください	<input type="checkbox"/> (フォト部門)被写体の肖像権やプライバシーの侵害、事実関係に問題ありません <input type="checkbox"/> この作品は他のコンクール、コンテストなどに応募したものではありません <input type="checkbox"/> この作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品で間違いありません <input type="checkbox"/> 入賞作品は、主催者、協賛社のホームページ、読売新聞紙面などに実名、年齢、作品、顔写真等を発表する他、作品に関する取材があることに同意します		
知ったきっかけ	(1) 読売新聞を見て (2) 病院、医療機関で見て (3) 学校(小・中・高・大・専門)で見て (4) 写真店・カメラ屋で見て (5) 読売新聞ホームページを見て (6) このチラシを見て (7) 医療関係者から聞いて (8) 友人・知人から聞いて (9) 雑誌や本を見て(具体的に:) (10) 公募サイトで見て(具体的に:) (11) 日本医師会ホームページを見て (12) 日本医師会公式YouTubeチャンネルを見て (13) 日本医師会からののお知らせを見て (14) その他(具体的に:)		

入賞作品についての著作権
 フォト部門は撮影者に帰属します。エッセー部門は主催者に帰属します。両部門とも、入賞作品について、読売新聞紙上及びその他広報物に使用する権利は、主催者が有します。